



西脇市 Facebook でも情報発信中！紙面に載せきれないまちの話題がどんどん届きます。



親子で弁当作りに挑戦

男女共同参画の啓発に取り組む市民ボランティア「もっとすてきに“パートナー”委員会」と男女共同参画センターが、男性の家事や育児の参画を促そうと、親子で弁当を作る料理教室を企画。参加した親子連れ6組16人は、同委員会の藤田和昌さんの指導を受けながら、さけのおにぎりや卵焼き、スパゲティナポリタンなど6品に挑戦し、野菜とともに弁当箱に詰めて完成させました。〔3月21日、茜が丘複合施設みらいえ〕



播州織が劇団四季の舞台衣裳に

播州織の振興と地域の活性化を目的に、四季株式会社（横浜市）と連携協定を締結。今年8月に始まる新作ファミリーミュージカル「～こそあどの森の物語～はじまりの樹の神話」の全国公演に向けて、播州織の舞台衣裳を共同で製作します。本市では年明けに上演を予定しており、同社の吉田智誉樹代表取締役社長は「播州織の衣裳を着た俳優が躍動する姿を、市民の皆さんにご覧いただきたい」と話しました。〔3月19日、市役所〕



道の駅で特産品使ったオリジナル弁当3千食販売

西脇多可料飲組合に加盟する飲食店の持ち帰り商品を取りそろえた「西脇多可のうまいもん弁当市」を開催。新型コロナウイルスの感染拡大で需要が落ち込む黒田庄和牛の生産者を支援しようと、同組合が国の補助金を活用して企画したもので、約20店舗が黒田庄和牛などの地域食材を取り入れたオリジナルの弁当3千食を販売しました。

この日市民会館で開かれた音楽イベント「ヘソノオ・ホットロック」（14～15日に関連記事）に、本市出身のトータス松本さんが出演することから、黒田庄和牛の焼き肉をご飯にのせた「トータス丼」や西脇ローストビーフをパンに挟んだ「トータスドッグ」も販売。販売開始とともに、各店自慢の味を買い求める客の姿が見られました。〔3月7日、道の駅北はりまエコミュージアム〕



約100点の力作並ぶ

「北はりま障がい者美術公募展」に絵画や彫刻など約100作品を展示。障害のある方の芸術活動を応援しようと、世話人会とアートネットはりまが初めて開催。〔3月9日～21日、播磨内陸生活文化総合センタードゥジアム〕



大塚製薬と協定締結

大塚製薬株式会社（本社＝東京都）と包括連携協定を締結。健康的な市民生活の実現を目指して、市民の健康づくりやスポーツの振興などのほか、防災に関する取り組みで連携を図ります。〔3月4日、市役所〕



プロ野球選手が健診PR

本市出身のオリックス・バファローズ・吉田凌投手と福岡ソフトバンクホークス・甲斐野央投手が、健診の受診を呼び掛けるポスターに登場。市は啓発を強化するため、両球団の協力を得て、300枚を制作しました（11日に関連記事）。



園児が描いた絵画が播州織に

織物業を営む株式会社織馬鹿は、園児が描いた自画像を織り込んだ播州織を製作し、卒園の記念品として5歳児38人へ贈りました。同社の高瀬佳典社長らが「ものづくりの楽しさを伝えたい」と企画。自画像は「笑顔で遊ぶ自分」をテーマに描かれたもので、贈られた園児は感触を確かめました。〔3月4日、しばざくら幼稚園〕



荣誉たたえ「絆賞」贈呈

市ではスポーツや文化などの分野で優秀な成績を収めた小中学生に、西脇市少年スポーツ・文化大賞「絆賞」を贈りました。今年の実賞者は次のとおりです（敬称略）。▶西脇中 来住宜尚▶西脇南中 村井陽向、浅島拓実、大崎羅以▶黒田庄中 北口美琴、藤原圭都、村上昊太郎、村上陽飛〔3月2日、生涯学習まちづくりセンター〕